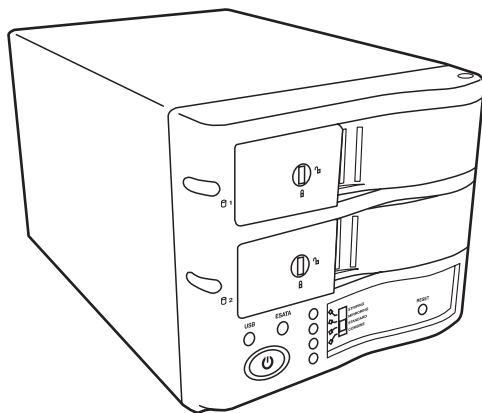


# 裸族の二世帯住宅

## 取扱説明書



CENTURY



## 【はじめに】

このたびは「裸族の二世帯住宅(CRNS35EU2)」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に本説明書を必ずお読みください。

## 【安全上のご注意】<必ず守っていただくようお願いいたします>

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 <b>警告</b>	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

### 警告

- 煙が出る、異臭がする、異音ができる  
煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない  
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。  
点検および修理は、お買上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない  
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿気や水気のある場所では使用しない  
台所や風呂場などの、湿気や水気のある場所では使用しないでください。機器の故障や、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない  
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る  
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取り扱いについて  
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘などで固定すると傷ついて芯線の露出や断線などによる火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。  
また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れないでください。  
感電したり火災の原因となります。
- ぬれた手で機器に触らない  
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

### 注意

- 設置場所に関する注意事項  
以下の様な場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
  - ・熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
  - ・油煙や湯気のある調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
  - ・直射日光のあたる場所。
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください  
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください  
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線などの原因となります。
- 小さいお子様を近づけない。  
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けがなどの原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください  
本製品は精密電子機器ですので静電気を与えると、誤動作や故障の原因となります。

## ■もくじ

■はじめに	i
■安全上のご注意	i
■特長	1
■制限事項	1
■ご使用前に	1
■製品仕様	2
■製品内容	2
■各部の名称	2
■対応HDD	3
■対応機種・対応OS	3
■HDD組み込み方法	4
■PCとの接続方法	8
■使用方法	9
■ディスクの構成を設定する（モード設定）	10
■領域の確保とフォーマット	17
■コンピュータ起動中のモード変更とHDDの取り外し	26
■Macintoshでの使用方法	27
■トラブルシューティング	29
■よくある質問と回答	30
■サポートのご案内	31

## 【特長】

- ◆SATA HDDを2台収納可能！
- ◆ケーブルレス&工具いらずで楽々組立て！
- ◆高速・安心のハードウェアRAID機能搭載（ストライピング・ミラーリング）
- ◆ミラーリング時、自動再構築（オートリビルド）機能搭載、初回構築時や障害時の復旧も楽々！
- ◆高速転送のeSATA接続、お手軽簡単なUSB2.0接続、選べる2種類の接続方法！

## 【制限事項】

- ・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は3.5インチ/SATA HDD専用です（PATAは使えません）。  
CD-ROM等の動作はサポート外とさせていただきます。

本製品はデータ保全手段の一つを提供するだけで、必ずしもお客様のデータ保護を保証するものではありません。データの保護には必ず他の装置や媒体へのバックアップを行ってください。

## 【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡頂きます様をお願いします。
- ・Windows はMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・Macintosh はApple,Incの登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

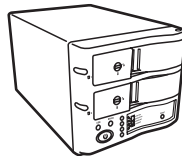
## 【製品仕様】

商品名	: 裸族の二世帯住宅
型番	: CRNS35EU2
インターフェイス	: USB2.0/eSATA
USBコネクタ形状	: レセプタクルBタイプ
重量	: 約1,825g (ドライブ含まず)
寸法	: 幅130mm×高さ115mm×奥行210mm
温度・湿度	: 温度5℃～35℃・湿度20%～80%(結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること)

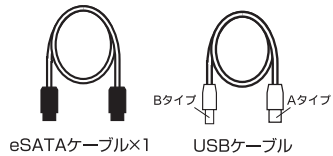
※本製品にHDDは含まれておりません。

## 【製品内容】

- ・裸族の二世帯住宅 本体
- ・eSATAケーブル×1
- ・USBケーブル×1
- ・専用ACケーブル
- ・取扱説明書/保証書(本書)

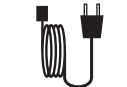


裸族の二世帯住宅 本体



eSATAケーブル×1

USBケーブル

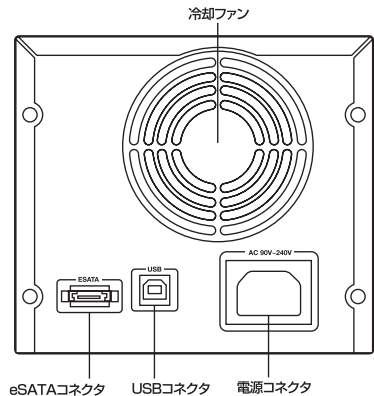
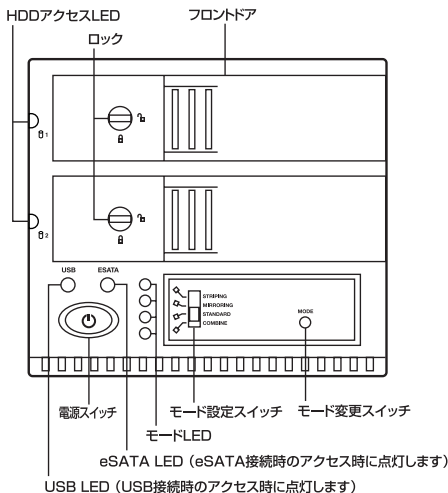


専用ACケーブル



取扱説明書/保証書(本書)

## 【各部の名称】



### ●HDDアクセスLED

- |        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 通常時    | : 青点灯                            |
| アクセス時  | : 青→ピンク点滅 (アクセス頻度によって点滅間隔は異なります) |
| HDD異常時 | : 青→赤→青→赤 (一定間隔で連続で点滅します)        |
| 同期処理時  | : ピンク→赤→ピンク→赤 (一定間隔で連続で点滅します)    |

※同期処理はミラーモードのみ。

※同期処理時の点滅は色の関係上、赤一色にしか見えない場合があります。

### ●冷却ファンは温度に合わせて回転する温度検知式となっております。

電源が入った直後等、回転しないことがありますが、これは故障ではなく仕様となっておりますのであらかじめご了承ください。

## 【対応HDD】

### ■SATA仕様の3.5インチHDD

※本製品はシリアルATA HDD接続専用です。PATA（パラレルATA）は接続できません。

※2台のHDDをRAIDで使用する場合は、同型番、同一容量のHDDのご使用を推奨します。

異なる型番・容量のHDDにてRAID構築を行った場合、使用できる容量の減少、パフォーマンスの低下、またはRAIDとして動作しない場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 【対応機種・対応OS】

《eSATA接続する場合》※2007年9月現在。

### ■Windows

・ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

**対応OS** : Windows Vista/Windows 2000/Windows XP

### ■Macintosh

・ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたMacintosh

**対応OS** : Mac OS 10.4以降

《USB接続の場合》

### ■Windows

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）

・USB1.1インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB1.1モード動作時）

※intelチップセット搭載モデル推奨

・Pentium300MHz/メインメモリ128MB以上。

**対応OS** : Windows Vista/Windows XP/Windows 2000

※Windows 95/Windows 98/Windows 98SE/Windows 3.x/Windows NT/Windows Meでは動作しません。

※Windows 98発売以前に発売、製造されたコンピュータは、USBポートの問題で正常に動作しない場合があります。

※次の機種では正常に動作しない可能性があるため、サポート対象外となります。

東芝製 DynaBook ,Satelliteシリーズ（K6 CPU搭載のもの）

IBM製 Aptiva Eシリーズ（AMD K6 CPU搭載のもの）、SOTEC製 e-note M260シリーズ。

※sis7000/7001/7002.PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

### ■Macintosh

・MacPro、Power Macintosh G5、Mac mini、eMac、iMac、MacBook Pro、Power Book G4、MacBook、iBook G4（USB2.0インターフェイス標準搭載モデル）

**対応OS** : Mac OS 10.3以降

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

### 本製品からのOS起動に関して

・本製品からはWindowsのeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動に関してはeSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

※Mac OSのOSインストール・OS起動には対応しておりません。

・USB接続でのOS起動はできません。

## 【HDD組み込み方法】

### ■HDD接続の前に



**警告**

HDDを接続するまえに、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。  
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。  
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。  
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

### ■組み込みの前に

- ・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。



**注意**

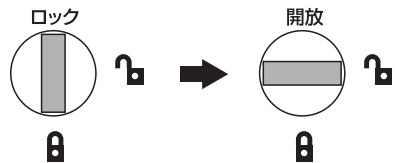
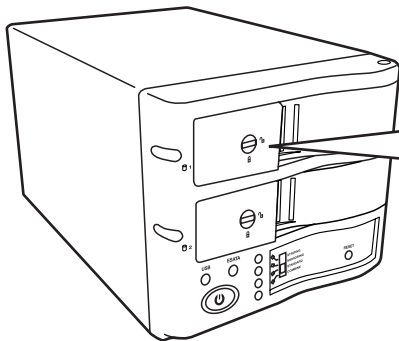
フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

#### ※注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

### ■HDDの取り付け方

- 1: フロントドアのロックが解放状態にあることを確認する。



※ロックはコインやマイナスドライバーで回してください。  
無理に回さない下さい。故障や破損の原因となります。

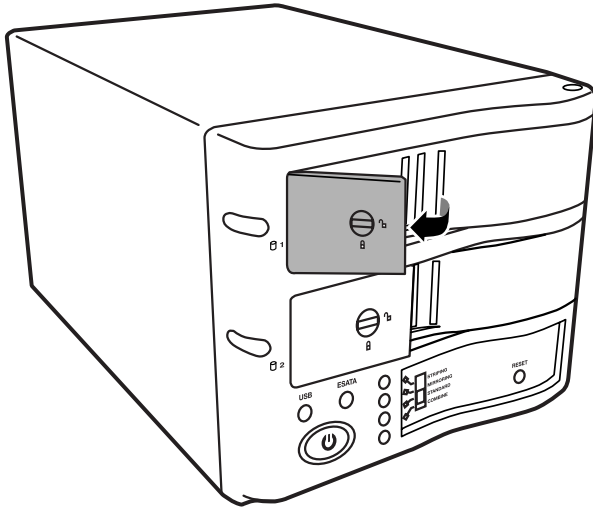


**注意**

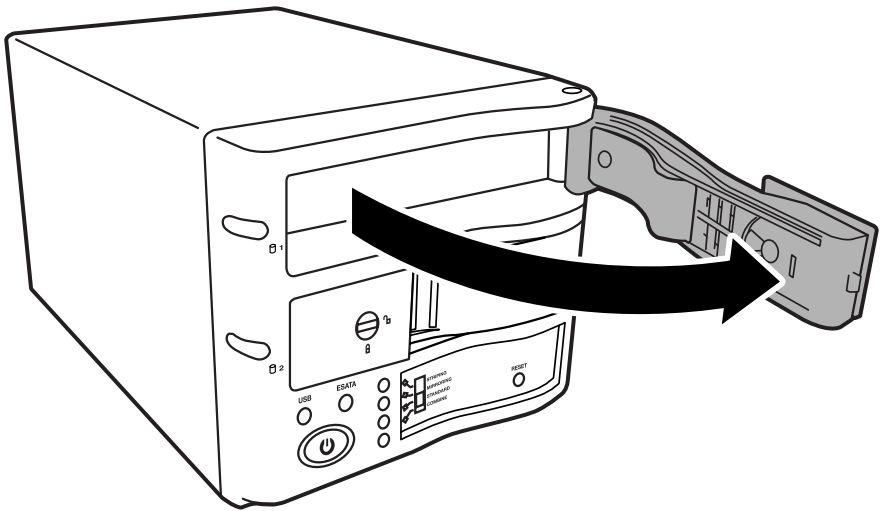
HDDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

## 【HDD組み込み方法】

2：フロントドアのノッチを手前に引きます。



3：フロントドアを開けます。

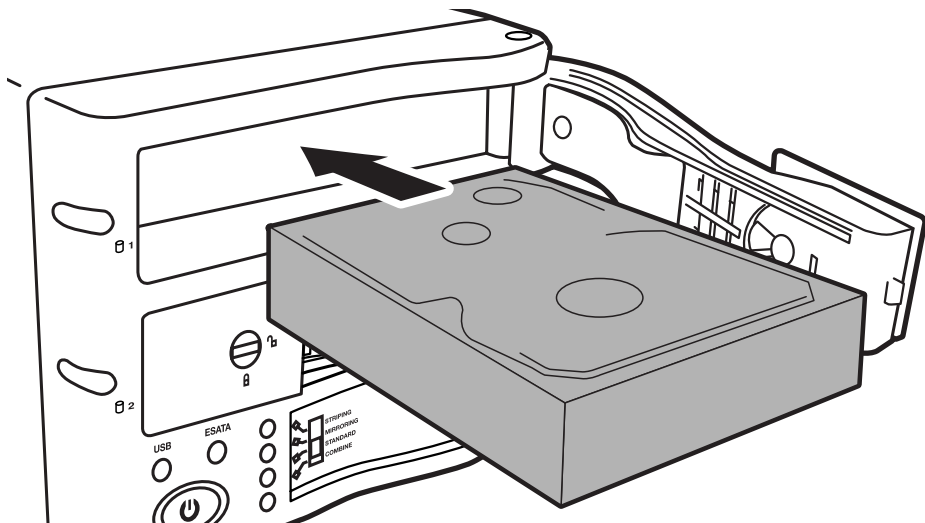


**注意**

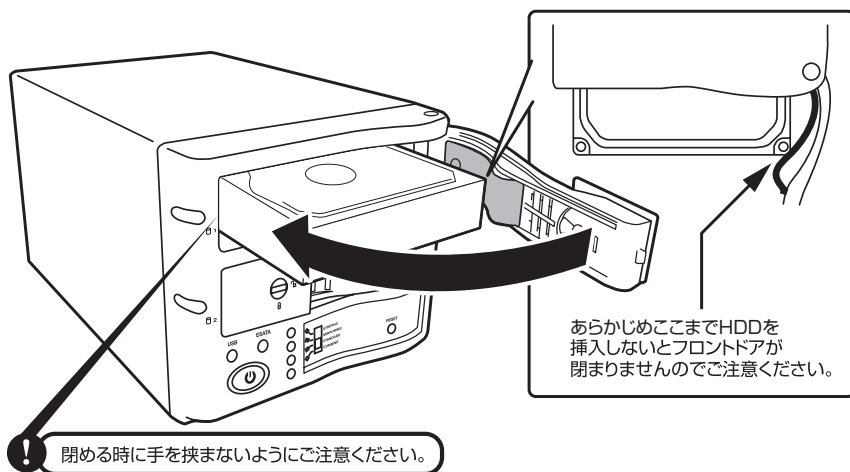
本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。



4：HDDを匡体内に入れ、軽く当たったところで止めます。



5：フロントドアの内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。



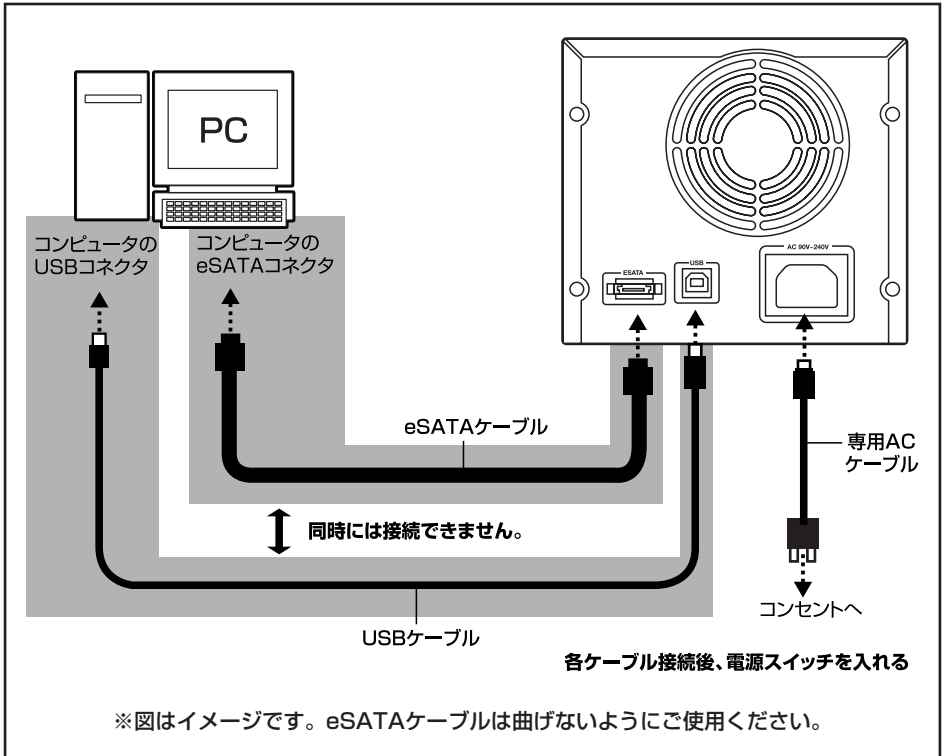
※無理にドアを閉めないでください。故障や破損の原因となります。



本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。



## 【PCとの接続方法】



## 【使用方法】

### ■本製品はまずディスクの使用方法を設定する必要があります。

※何も設定していない出荷時の状態だと、HDDをそれぞれ独立して認識するスタンダードモードとして認識します。

- 1：ディスクの構成を設定する（10ページ）  
使いたいディスクの構成を設定します。
- 2：PCに接続します

### ■USB接続の場合

- ・Windows/Mac OSともにOS標準のドライバを読み込んで認識します。  
特にドライバのインストールをする必要はありません。
- ・新しいHDDを接続した場合は領域の確保やフォーマットが必要ですので、17ページからの「領域の確保とフォーマット」をご覧ください。

### ■eSATA接続の場合

- ・お使いのeSATA インターフェイスのドライバが正しくインストールされていれば、そのまま認識されます。  
特に本製品のためにインストールするドライバはありません。
- ・新しいHDDを接続した場合は領域の確保やフォーマットが必要ですので、17ページからの「領域の確保とフォーマット」をご覧ください。

### ■内蔵したHDDをダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しのできない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本製品のような外付けHDDケースにダイナミックディスクでフォーマットしたHDDを内蔵すると、データの認識ができない等の不具合が生じる場合があります。

この場合、HDDのデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットしなおしてご利用ください。

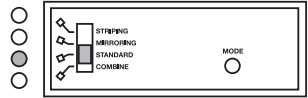
ダイナミックディスクかベーシックディスクかを確認するには、「ディスクの管理」画面にて確認できます。

## 【ディスクの構成を設定する(モード設定)】

本製品は前面にあるモード設定スイッチで、HDDを4種類の構成で利用することが可能です。

### • スタンダードモード (※出荷時状態)

HDDをそれぞれ独立して使用します。



### • コンバインモード

2台のHDDを連結して使用します。



### • ストライピングモード

2台のHDDをそれぞれに分散して読み書きを行います。  
分散して処理を行うため高速になります。



### • ミラーモード

2台のHDDに同時に同じ内容を書き込みます。  
片方が壊れても片方のディスクでデータを保持するため、大事なデータのを入れておくには最適ですが、使えるディスク容量は半分になってしまいます。



※データの保持には必ずバックアップと組み合わせて行うようにお願いいたします。

本製品はデータの保護手段の一つを提供するだけで、必ずしもお客様のデータ保護を保証するものではありません。

## 【ディスクの構成を設定する(モード設定)】

### ■ディスク構成の設定変更方法

設定を変更する方法は次のとおり行います。

#### ※注意

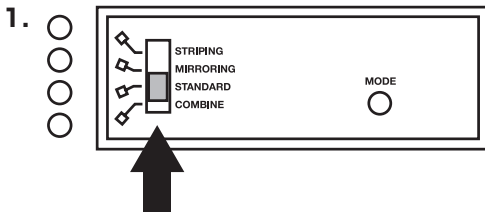
モード変更をする際は、PCから取り外した状態でモード変更を行ってください。

モード変更を行った時点で一旦PCからの接続が切れますので、データの転送等でエラーが発生する場合があります。

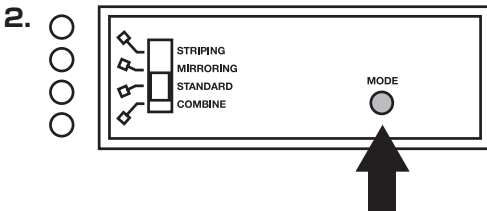
#### ※注意

モードの変更は電源が【入っている】状態のみ可能です。

電源を切った状態でモード変更の手順を行っても、反映されませんのでご注意ください。



モード設定スイッチを設定したいモードに変更します。



モード変更スイッチを押します。

3. モード変更スイッチを押すとモード設定スイッチで設定したモードに切り替わります。  
PCと接続してモードが変更になったか(ドライブ数、容量)を確認してください。  
モードによってどのように認識されるかは、各モードの説明をご参照ください。

## ■スタンダードモード

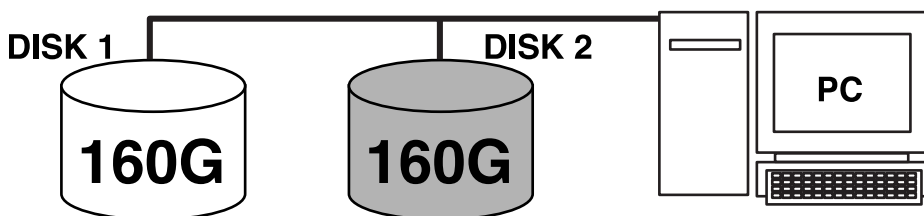
HDDをそれぞれ独立して認識させるモードです

それぞれが独立した別々のHDDとして認識されます。ただし、USB接続時の『ハードウェアの取り外し』においては、同じデバイスとして扱われますので、取り外しに関しては両方同時に取り外され、片方のみ認識させるということとはできません。

他のHDDケース等で使用していたHDDを組み込んで、そのままの状態でも認識します。

※内蔵HDDとして使用していた場合で、ダイナミックディスク形式で領域確保してある場合は除きます。

内蔵HDDとして使用していたHDDは、内蔵用でしか使用できない(切り離されることが想定されていない)ため、外付けHDDケースに内蔵すると、認識しないばかりか、データの破損や消失を招くおそれがありますので、ご注意ください。



2つのHDDがそれぞれ認識されます。

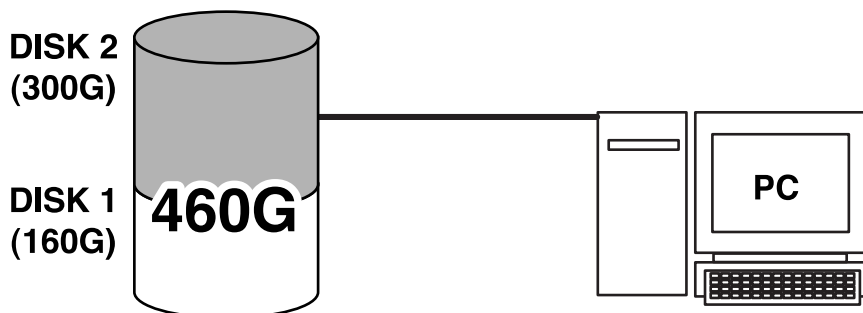
## ■コンバインモード

HDDを連結してPCから一台のHDDとして認識させるモードです

例：160GB HDD + 300GB HDD = PCからは460GBの外付けHDDとして認識される。

異なる容量のHDDでも利用可能です。

※ディスクを連結している関係上、片方のディスクが故障するとデータの整合性が取れなくなり、データが失われます。



1つのHDDとして認識されます。

# 【ディスクの構成を設定する(モード設定)】

## ■ストライピングモード

HDDを連結して分散処理を行うモードです。

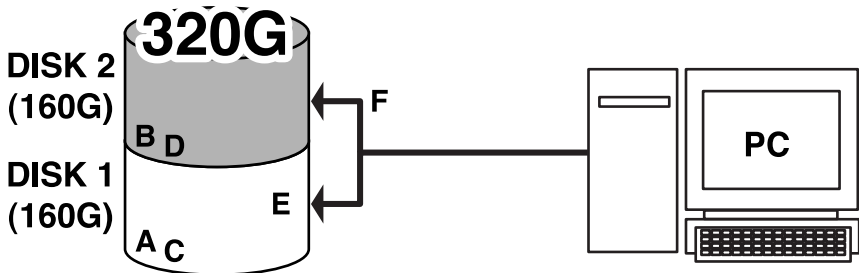
分散処理を行う分、読み書きの速度は向上します。

ただし、双方のHDDが同じ容量か、異なる容量を使った場合小さい方の容量と同じ容量までしか使用できなくなります。

※USB接続だけで使用する場合、USB2.0の最大転送速度によって速度の高速化が見込めず、メリットがありませんのでコンバインモードで利用することをお勧めします。

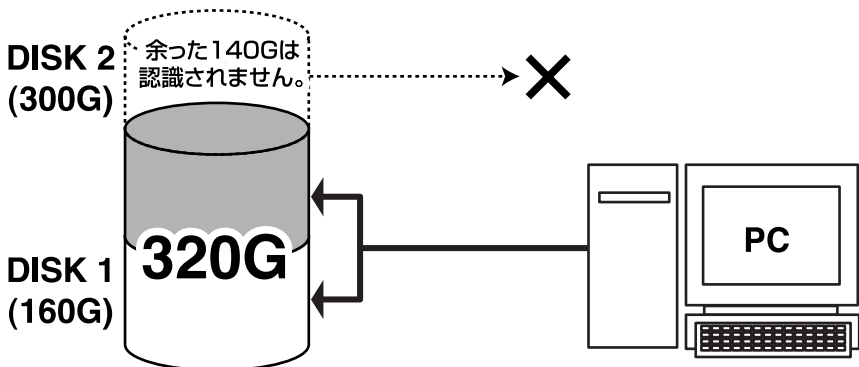
※2つのディスクに分散してデータを書き込む関係上、高速にはなりますが片方のディスクが故障した場合、保存したデータは失われます。

例1：160GB HDD + 160GB HDD = 320GBのストライピング HDD



1つのHDDとして認識されます。  
高速でデータ転送します。

例2：160GB HDD + 300GB HDD = 320GBのストライピング HDD



※例2の場合は140GB分の容量が無駄になります。余った140GB分は、ないものとして扱われますので、他の用途に使用する等はできません。



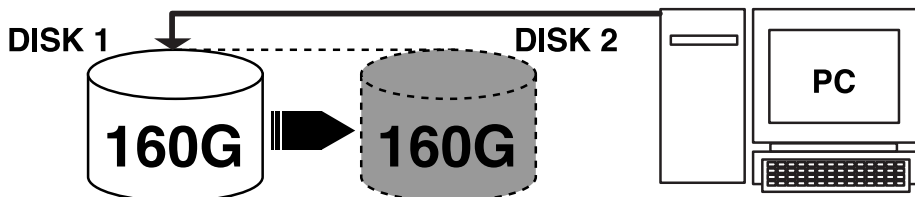
## ■ミラーモード

それぞれのHDDに同じ内容を書き込んで、HDDの破損によるデータ消失に備えるモードです。

ただし、双方のHDDが同じ容量か、異なる容量を使った場合小さい方の容量と同じ容量までしか使用できません。

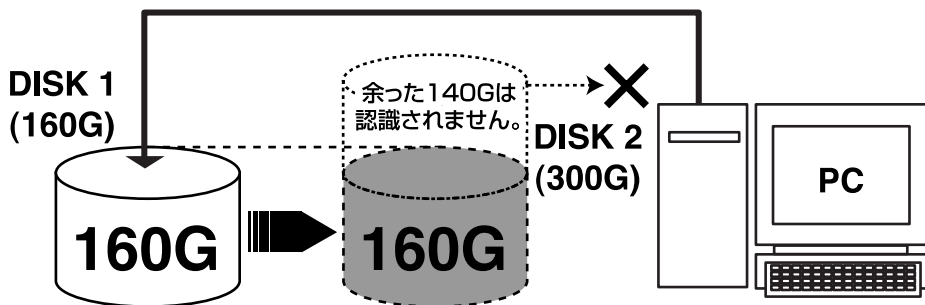
また、2箇所同じデータを書き込む仕様上、使える容量はさらに半分になります。

例1：160GB HDD + 160GB HDD = 160GBのミラー HDD



1つの160GBのHDDとして認識されます。  
自動的にバックアップされていきます。

例2：160GB HDD + 300GB HDD = 160GBのミラー HDD



1つの160GBのHDDとして認識されます。  
自動的にバックアップされていきます。

※例2の場合は140GB分の容量が無駄になります。余った140GB分は、ないものとして扱われますので、他の用途に使用する等はできません。

# 【ディスクの構成を設定する(モード設定)】

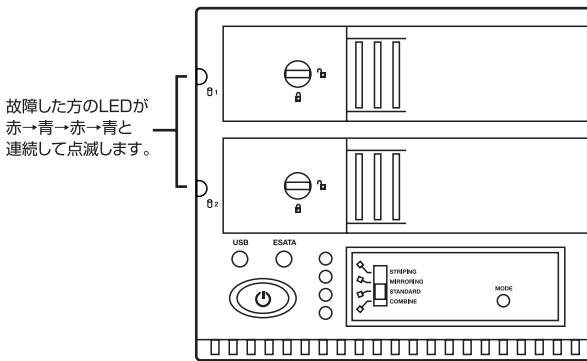
ミラーモード

## ■ミラーモード利用上の注意点

ミラーモードを設定しただけではHDDは利用可能になりません。  
ミラーモードを設定した後は、【必ずPCでフォーマット】を行ってください。  
フォーマットを行わず、古い状態のデータがそのまま見えることがありますが、正常にデータは保存されておられません。必ずフォーマットを行ってください。

## ■片方のディスクが故障した場合

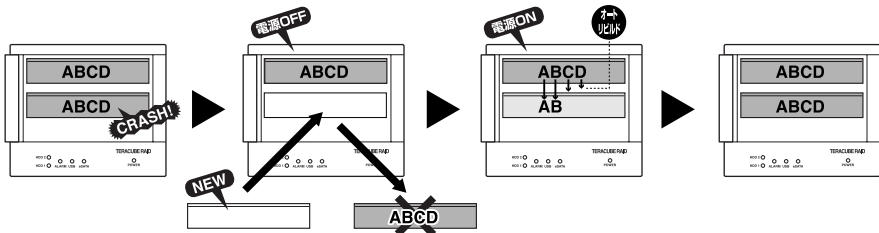
PCからは特に問題なくそのまま読み書き可能です。  
LEDの状態は次のようになります。



このような状態になった場合、速やかに故障したHDDを入れ替えてください。  
故障したHDDを入れ替えると、自動的に同期処理が行われ、RAIDが再構築されます。

## 注意!!! ディスクのアクセス中はHDDの入れ替えを行わないでください!!!

負荷が重なってディスクがHDDから切り離される可能性があります。  
PCと切り離れた状態か、電源を切った状態での入れ替えをお勧めします。



- ※同期処理中でもディスクアクセスは可能です。
- ※同期処理中にPCの再起動等で割り込みが発生すると、一旦同期処理処理が中断されますが、その後自動的に再開します。
- ※同期処理にかかる時間は内蔵したHDDによって異なりますが、一例として500GBのディスク2台でミラーモードに設定した場合約4時間程かかります。

## ■入れ替える場合の注意点

- ・モード切替をしたりモードスイッチを押さないでください!!  
ケース側がRAID 1の状態を保持していますので、この段階でモード切替を行うと、同期処理が正常に行われないばかりか、データが失われるおそれがあります。
- ・交換するHDDは故障したHDDと同じか、容量の大きなものを使用してください。

## 【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。

パーティションの分割等の操作については、Windowsの説明書や参考書籍等をご参照ください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。  
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

# □Windows Vistaの場合

1.

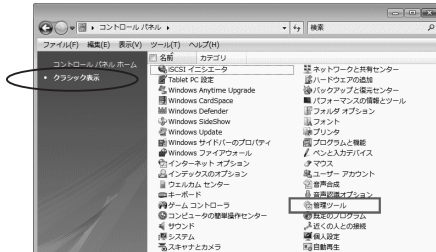


フォーマットをするアプリケーションを起動するために、スタートから

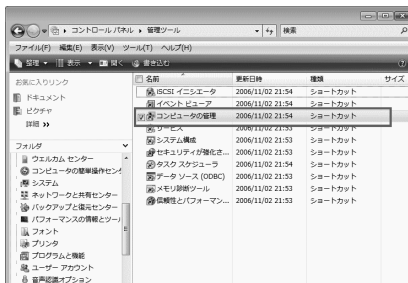
【コントロールパネル】→【クラシック表示】→【管理ツール】

の順に開きます。

※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



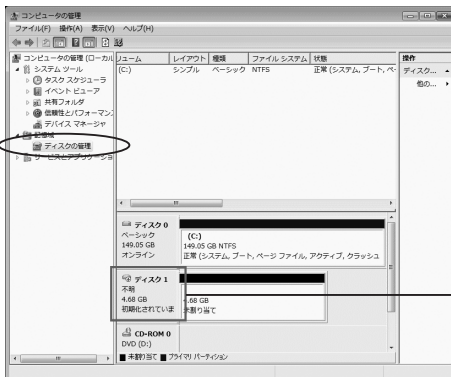
2.



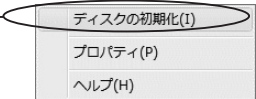
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.

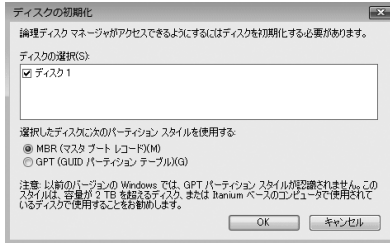


【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが「初期化されていません」と表示されています。そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



## 【領域の確保とフォーマット】

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします

※パーティションスタイルについて

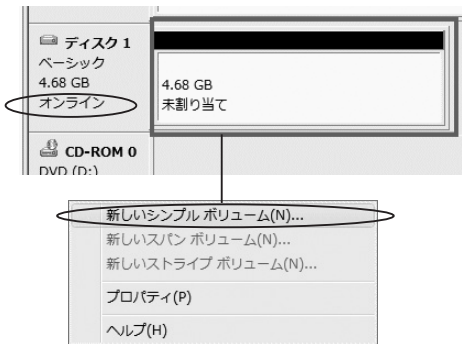
パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをお勧めします。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。

また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。

GPT形式であれば2TBを超える容量が扱える訳ではないことに注意してください。

5.

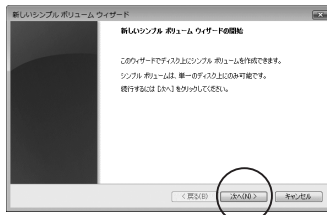


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

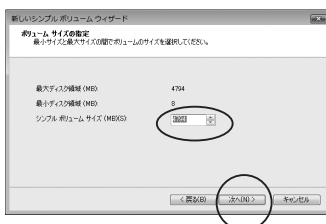
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



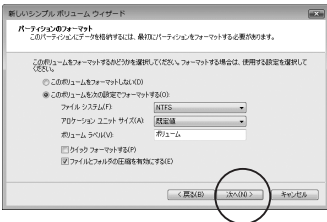
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号の一番若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsのヘルプや参考書等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

#### ・ ファイルシステム

NTFSとFAT32が選択可能です。

※FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域を使用する場合はNTFSでフォーマットを行ってください。

#### ・ アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

#### ・ ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

#### ・ クイックフォーマット

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

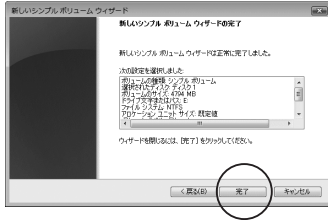
#### ・ ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面で圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】  
ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】を  
クリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。  
ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、  
フォーマット完了までの進行状況が表示され  
ます。

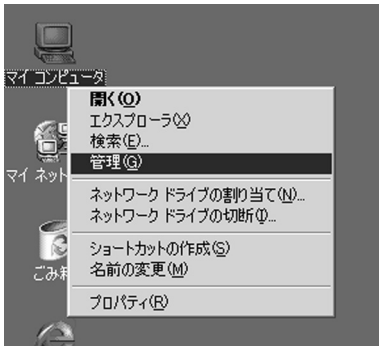
フォーマットが完了すると、マイコンピュータに  
ディスクが表示され、使用可能になります。



## □Windows 2000/Windows XPの場合

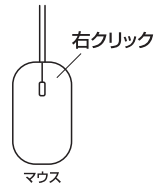
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインしておこなってください。

1.

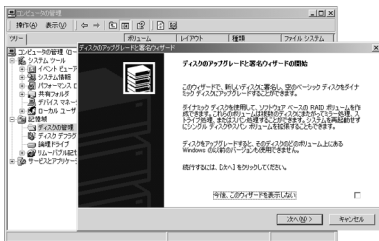


デスクトップのマイコンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。



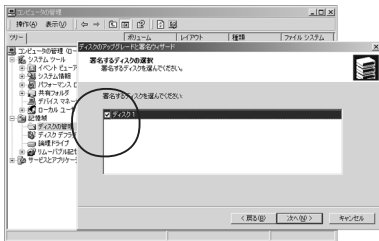
2.



「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

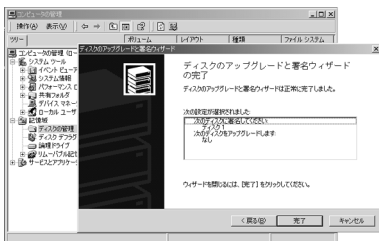
3.



「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。

署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.

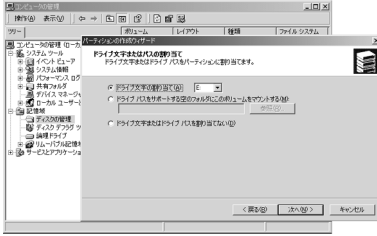


「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウインドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。



9.



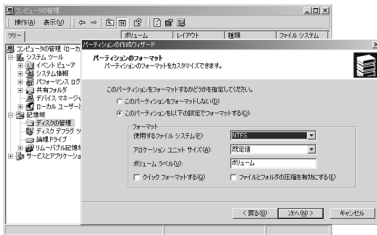
「ドライブ文字またはバスの割り当て」ウインドウが表示されます。

ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。

※「ドライブバスをサポートする空のボリュームにマウントする(M)」はWindows 2000、XPの機能で、元々あったHDDの中に、新しいHDDを増設する方法です。

詳しくは、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。

このウインドウでフォーマット設定をすることができます。

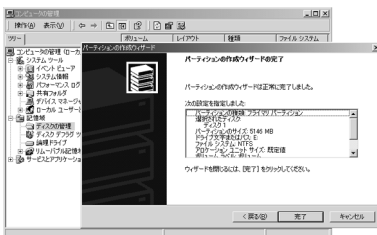
- ・使用するファイルシステム  
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows 2000、XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・アロケーションユニットサイズ  
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル  
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ規程の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする  
このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットすることができません。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする  
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様の的にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくは、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

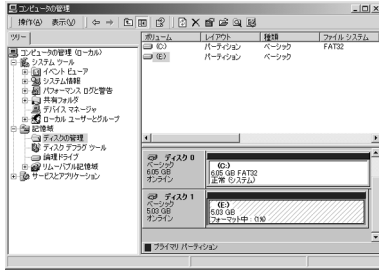
11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。

「完了」をクリックして閉じます。

## 12.



フォーマットが開始されます。  
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。  
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。  
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってください。

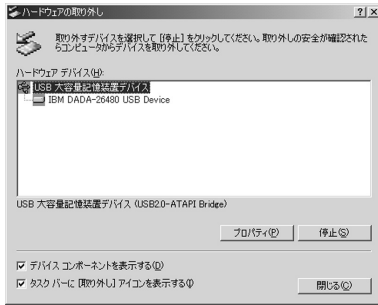
	<p>フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。 フォーマット中は、コンピュータ、HDDの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります</p>
--	---

# 【コンピュータ起動中のモード変更とHDDの取り外し】

本製品はUSB接続時に起動中の取り外しが可能です。

※eSATA接続は起動中の取り外しができませんのでご注意ください。

1.



Windowsの「ハードウェアの取り外し」を使用します。

HDDを接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。

「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックすると、「ハードウェアの取り外し」ウインドウが表示されます。

「大容量記憶装置デバイス」をシングルクリックで選択し、「停止」をクリックします。

続いて「ハードウェアデバイスの停止」ウインドウが表示されますので、「OK」をクリックします。

2.



取り外し完了のメッセージが表示されて完了です。

「OK」を押してWindows側からのHDDの取り外しを完了します。

※スタンダードモードで複数のHDDを接続している場合、どれかひとつの取り外しを行うとすべてのHDDが取り外されます。

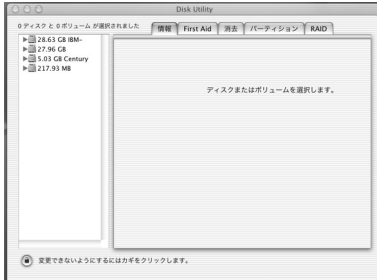
# 【Macintoshでの使用方法】

Mac OS XではMac OS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMac OS 9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。  
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。  
本製品に接続したHDDは、「xx GB Century」と表示されます(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報がされます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。  
パーティション設定を変更できます。

## • ボリュームの方式

作成するボリューム数を選択します。  
8つまで分割して作成することが可能です。

## • ボリューム

メディアの分割状況が表示されます。

## • ボリューム情報

ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。  
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更することが可能です。

## • 名前

作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

## ・フォーマット

作成するボリュームのフォーマットを選択します。

Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMac OS標準かMac OS拡張を選択してください。

## ・サイズ

作成するボリュームのサイズを変更できます。

## ・オプション

Mac OS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS9で動作するドライバをインストールします。

## ・分割

選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

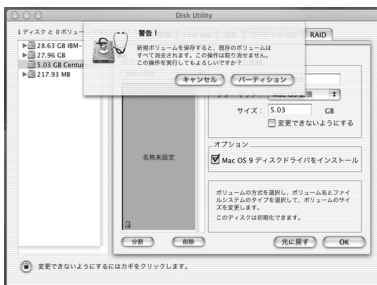
## ・削除

選択されているボリュームを削除します。

## ・元に戻す

直前の変更を元に戻します。

## 4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。

警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

## 5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

※スタンダードモードで複数のHDDを接続している場合、どれかひとつの取り外しを行うとすべてのHDDが取り外しされます。

## 【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

### ■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- ・ 接続ケーブル、ACケーブルおよびACアダプタが正しく接続されているか
- ・ 電源LEDや各接続(eSATA/USB)のLEDが正しく点灯しているか
- ・ eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか
- ・ eSATA I/Fの仕様はポートマルチプライヤーに対応しているか

### ■電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

→HDDが正しくコネクタに接続されているかをご確認ください。

### ■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されません。

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。

詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等に繋がる場合がありますので、弊社ではお勧めしておりません。

### ■MacPro接続時、スリープから復帰するとフリーズする

→本製品はスリープに対応しておりません。スリープする前に取り外しを行ってからスリープを行ってください。

同時に、Macintoshのスリープにも対応しておりません。

### ■高速に読み書きができない(USB)

→USB接続では例えばUSB2.0接続でも、最大の転送速度が30MB/Sec前後となります。

(環境によって異なりますのであらかじめご了承ください。)

そのため、接続するHDDやeSATA I/Fにもよりますが、eSATA接続よりも速度が低下します。

同時に、速度を重視するためのモードであるストライピングモード(RAID 0)は最大転送速度の低いUSB接続では意味を成さないばかりか、データの保護の面では不利になります。



## 【よくある質問と回答】

Q：RAIDとは何ですか？

A：Redundant Arrays of Inexpensive Disksの略で、複数のHDDを組み合わせてHDDの信頼性を確保する技術のことです。

Q：ハードウェアRAIDとソフトウェアRAIDというものがありますが、この製品はどちらですか？

A：本製品はRAIDの構築に本体以外のソフトウェア等を必要としない、ハードウェアRAIDとなります。

Q：ハードウェアRAIDはソフトウェアRAIDよりも高速ですか？

A：環境や使用する機器によります。一概にハードウェアRAIDのほうが高速だとは言えません。

ハードウェアRAIDである利点は、ソフトウェアによる設定が必要ないことや、PCが起動していない状態でもRAIDの再構築が行える等があります。

Q：ストライピングやコンバインモードを使用するとHDDの故障率が上がりますか？

A：上がりませんが、データ保護の観点からすると、ミラーリングやスタンダードモードよりも劣ります。

ストライピングやコンバインモードは、複数のHDDを組み合わせて一台のHDDを構築するため、片方のHDDが故障すると、構成していたHDD内に収められている全データが損なわれることになります。

Q：ミラーリングを行えばバックアップはしなくてもいいですか？

A：必要です。

不測の事態(HDD2台同時故障や、ウィルス等のソフトウェア的なデータ破壊等)を備えるという意味で、ミラーリングはバックアップの代替えにはなりません。

データ保護を行うのであれば、ミラーリングモードでRAIDを構築した上で、保存したデータを別の装置や媒体にバックアップしてください。

## 【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなはら十余二翁原240-9

**【TEL】04-7142-7533**

(平日 午前10時～午後5時まで)

**【FAX】04-7142-7285**

**【Web】**<http://www.century.co.jp>

**【Mail】**[support@century.co.jp](mailto:support@century.co.jp)

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから  
発送をお願いいたします。

## アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を  
お願いいたします。  
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

**【URL】**<http://www.century.co.jp/que.html>



## — 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.